

# 医学部を目指す中高生たちへ 受験や医師に必要なことを紹介

5月13日、広告特集「これからの医学部受験」の特別企画として「目指せ!医学の道 2018 ~医を志すということ~」が、東京・霞ヶ関のイノホールで開催された。現役で活躍する医師や医学部生などのリアルな声を聞こうと多くの中高生とその保護者が来場。普段聞くことができない貴重な話に、熱心に耳を傾けていた。

## これからの 医学部 受験

紙上採録

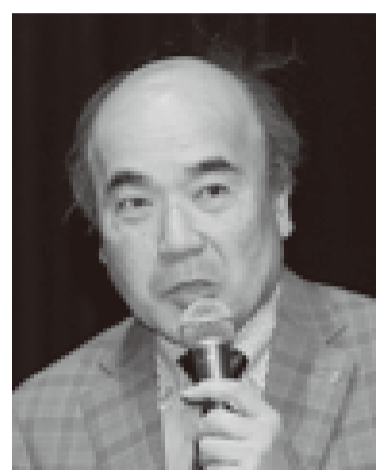
# 目指せ!医学の道 2018 ~医を志すということ~

### 第1部

## 現役医師が語る 医療の現場・医師の心構え

#### 人口の増減により 変化する需給率

医師は人を相手にする職業です。今10代や20代の皆さんが40代、60代になった時に日本の人口がどうなっているか。さらに日本経済は順調か、医療のあるべき姿はどう変化していくか、など人口減少時代を想像しながら医学の道に進むことも大事だと思います。



日本医師会  
常任理事  
羽鳥 裕氏

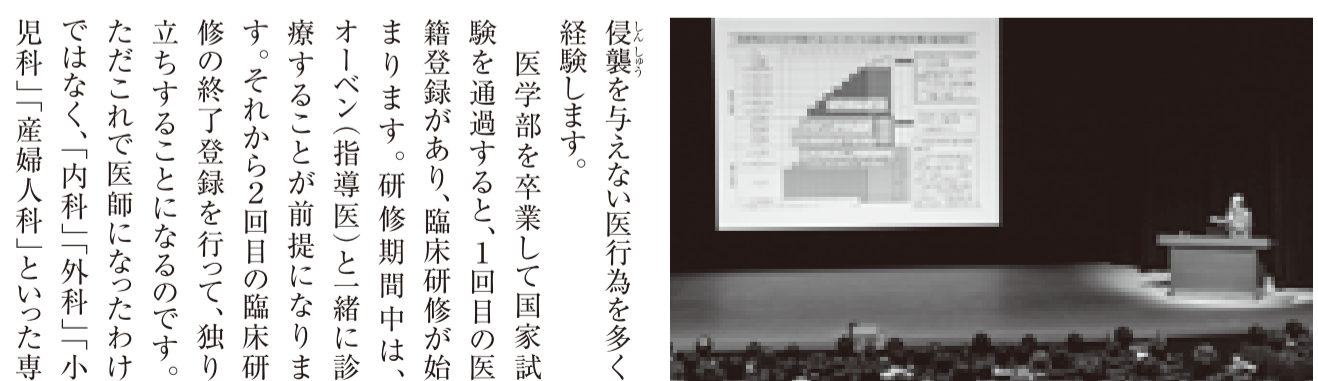
はとりゆたか/1978年、横浜市立大学医学部卒業。同大、横浜市立大学附属第二内科勤務。神奈川県立成人病センター(現がんセンター)、横浜市立赤十字病院内(現みなと赤十字病院)を経て、88年に「はとりクリニック」開設。川崎市医師会理事、神奈川県医師会理事などを歴任し、2014年から現職。

今後、世界人口はアジアとアフリカで大きく増加し、北米、ヨーロッパ、オセアニアなどはほとんど変化しませんが、日本は減少傾向です。2010年に約1億2800万人いましたが、2100年には5000万人になると言われています。少子高齢化が進み、皆さんが医師として働く頃は、社会を支えていく15歳から64歳の人に比べて65歳以上の人を支える比率がどんどん

#### 知識と技術に加え 高い倫理観が必須

高くなってしまうのです。これは日本だけの問題ではなく、韓国や中国、インドネシアなどでも同じです。その一方で、08年以降、医学部の入学定員が過去最大規模に増員しています。地域枠の数も増加していることもあり、医師の数が非常に多くなります。しかし医師の需給推計は、現在の勤務形態でもほぼ均衡している状態です。今後議論されている医師の働き方を24時間休みにするなど、労働時間が週60時間程度に制限すると、28年に35万人で均衡すると週55時間に制限すれば33年に36万人で均衡すると推測されています。それ以降は、医師は相対的に過剰になります。

現在、医学部では文部科学省の「医学教育モデルCOAカリキュラム」を卒業し、到達目標として「教育が行われた」というオーソドックスなものがある。2問、1問はフレキシブルに変わる。泉 横浜市立大学は、生徒1人に対し先生複数名の面接。質問は志望動機など一般的な



門研修を受ける必要があります。そして基本領域専門医の資格が取れたら、さらに「消化器」「循環器」「呼吸器」「血液」などのサブスペシャリティ専門医としての資格を目指してほしいと思います。国家試験に受かれば、医師免許を取得できますが、皆さんには良い医師、尊敬される医師を目指してほしいと思います。古代からある医師としての倫理規範、ビロクラテスの誓いなど、医師に必要な素養が示されています。①家族同様に遇する②患者にはいかなる危害も加えない③自殺を助けたら、あるいは安楽死を行わない④堕胎を起すようなことはしない⑤結石患者は専門家の治療に任せる⑥職業上の関係を乱用しない。特に性的動機のために⑦患者の秘密を保持する。医学部進学を目指している皆さんは、免許を取るのだけではありません。「医師とは何か」「医師として何が必要か」を常に考え行動してほしいと思います。

### 第2部

## 医学部受験を勝ち抜くために 医師への憧れを現実にする

#### 様々な要因によって 難化する医学部受験

受験者数が増えていることで、医学部受験が非常に難しくなっています。特に私立は学費が大幅に下がってきたため受験者が増えています。さらに東大よりも医学部を目指す上位生が増え、理系女子の医学部志向も強まった結果、受験者のレベルが高くなっているのです。



名門会家庭教師センター  
医学部受験指導責任者  
鈴木 博氏

すずきひろし/京都大学卒業。2018年度医学部入試236人の合格者数をトップ講師集団「名門会」の教務責任者。特に医学部合格カリキュラム作成のノウハウをもとに、「医学部に強い名門会」を確立している。

こうした状況の中で合格するには、国立の場合はまずセンター試験で最低でも85%以上を確保することです。具体的には理系科目と英語は9割、国語と歴史・公民は悪くても8割を切らない。センター試験の問題は標準的ですが、時間的なプレッシャーとの戦いになります。



私立大学の医学部は、とにかく競争率が高い。実質倍率が10倍以上というところが多くあります。1点でも順位が大きく変わるので、ミスが許されません。しかも問題数も多く、スピードも必要になります。また上位の難関校と中堅校では、入試問題に求められる力が異なります。難関校の過去問で勉強しているだけでは、中堅校の問題に対応できません。必ず志望校候補の過去問は、通り見ておいてください。

#### 合格への扉を開く 本番を見据えた学習

まず入試問題をレベルAからDの4段階に分けて考えます。まずは、基本のAと標準的なBものが多かったです。小論文も特殊なものではなく、オーソドックスな課題でした。対策としては、毎日ニュースをチェックして、それについて自分の考えをまとめる。その積み重ねが小論文や面接には効果的です。井原 将来進みたい道はすでに決まっています。少子化と言われているので、未来を生きる子どもへの命を預かるのは非常に意義のあることだと思います。また小児科は臓器にこだわらない総合診療的な側面もあるため、様々な病気の子どもを診たいですね。中島 4年次に年間アルファイマーの研究をして、6年次に臨床実習として神経内科や精神科などを回りました。今年の春休みにはWHOの本場でインタンをさせていただき、その経験が踏まえて認知症に携わる仕事に就きたいと考えています。松井 私は心臓血管外科を志望しています。座学で様々な病気について勉強して、腫瘍や循環動態など循環器に興味を持ちました。「女性なのに大丈夫か?」「家庭との両立は?」と聞かれることも多いですが、そうした心配を払拭できるように勉強やトレーニングを頑張りたいと思います。

### 第3部

## 現役医学部生による パネルディスカッション

〈参加大学 北里大学、慶應義塾大学、国際医療福祉大学、信州大学、東海大学、東邦大学、横浜市立大学、コーディネーター〉井原圭子(AERA編集長)

#### それぞれの大学で 特色は大きく異なる

井原 みなさんが医師を志したのは、何がきっかけだったのかわかりません。直宮 私の父は医師で、診療所を開いています。自転車で行診するような小さなところで、地域の人たちからとても頼りにされている。そんな父の姿を見て、私も将来は人から必要とされる人間になりたいと思います。川上 祖父が病気がちで病院によく通っていたことがきっかけです。また、妹が脱水症状で病院に行った時に、同世代で小児まひや寝たきりの子たちがいるのを知り、こうした子たちの役に立ちたいと思い、医師を目指しました。



横浜市立大学 医学部医学科 4年生  
泉 洋平さん

泉 子供の頃、家族のお見舞いで何度か病院に行つて、その時に治療してくれた医師をかっこいいと思っていました。そして高校時代に山中伸弥先生など、医学のことがネットで取り上げられているのを見て、自分も医学部へ行くことを決めました。井原 大学選びの決め手と各大学の強みを教えてください。中島 慶應義塾大学を志望したのは、有名な先生が多く、研究も充実している、関連病院が多数あるからです。学校の色は部活を入れていること。ヨト部でしたが、土日



国際医療福祉大学 医学部医学科 2年生  
中村龍太さん

や春夏の合宿など、ほぼ毎日部活がありました。また4年次に自主研究を1年間行うことや、5年次の春に臨床実習として海外に1カ月ほど留学できるのも特徴です。中村 私は学費が安い国際医療福祉大学を選びました。特徴的なのは、医学を英語で学ぶことです。大多数の授業は全て英語です。プレゼンやディスカッションなどのクワイアラーンゲが多く、活気があります。USMLEというアメリカの医師国家試験の取得を目指している学生もたくさんいます。森川 得意な英語の配点が高く、入学後も英語に重点を置いています。東邦大学を受験しました。東邦大学のいいところは、低学年から臨床的な要素を講義に取り入れている点です。一般的な主訴からグループで検査や問診をして確定診断まで行う授業もあり、早くから臨床につながる能力が培われます。井原 医学部受験では数学が非常に重要になります。苦手な人はどう克服したのでしょうか。中村 とにかく基礎的な問題を集を繰り返して、解法の引き出しをたくさん作りました。やっている時はすごく嫌でしたが、数学では基礎を押さえるところが一番大事です。テストの時は「あれだけやっていたのに絶対できるはずだ」という気持ちになりました。

井原 面接や小論文も大学によって特徴が違いますね。森川 東邦大学は「研修医の当直医として、救急車からの電話を受けてください」などのロールプレー形式の面接と、志望理由などを聞かれる部屋が4、5部屋用意されていて順番に回りました。そこではプレッシャーの中で、「ここではいけないことをせず、やるべきことができるか」「焦りを表に出さずにいられるか」などを見ていくそうです。

井原 面接や小論文も大学によって特徴が違いますね。森川 東邦大学は「研修医の当直医として、救急車からの電話を受けてください」などのロールプレー形式の面接と、志望理由などを聞かれる部屋が4、5部屋用意されていて順番に回りました。そこではプレッシャーの中で、「ここではいけないことをせず、やるべきことができるか」「焦りを表に出さずにいられるか」などを見ていくそうです。

中島 私には5年後に今の自分を振り返って後悔しないか、ということを常に考えています。そのためには努力が必要ですが、努力すれば必ず報われるわけではないと思いますが、後悔するのではないと思います。積み重ねていけば、必ずすてきで、かけがえない人生になると思うので、皆さんも頑張ってください。

松井 私はまず「淡々と」ということを大切にしています。模試の点数が悪くても、嫌なことがあっても、日々淡々と決めた量を勉強する。もう一つは絶対に諦めないことです。この二つを心に留めて勉強していました。振り返ると、受験は通過点であってゴールではなく、医師への第5ステップだと感じます。皆さんもそのように考えて頑張ってください。

井原 面接や小論文も大学によって特徴が違いますね。森川 東邦大学は「研修医の当直医として、救急車からの電話を受けてください」などのロールプレー形式の面接と、志望理由などを聞かれる部屋が4、5部屋用意されていて順番に回りました。そこではプレッシャーの中で、「ここではいけないことをせず、やるべきことができるか」「焦りを表に出さずにいられるか」などを見ていくそうです。

井原 面接や小論文も大学によって特徴が違いますね。森川 東邦大学は「研修医の当直医として、救急車からの電話を受けてください」などのロールプレー形式の面接と、志望理由などを聞かれる部屋が4、5部屋用意されていて順番に回りました。そこではプレッシャーの中で、「ここではいけないことをせず、やるべきことができるか」「焦りを表に出さずにいられるか」などを見ていくそうです。

中島 私には5年後に今の自分を振り返って後悔しないか、ということを常に考えています。そのためには努力が必要ですが、努力すれば必ず報われるわけではないと思いますが、後悔するのではないと思います。積み重ねていけば、必ずすてきで、かけがえない人生になると思うので、皆さんも頑張ってください。

松井 私はまず「淡々と」ということを大切にしています。模試の点数が悪くても、嫌なことがあっても、日々淡々と決めた量を勉強する。もう一つは絶対に諦めないことです。この二つを心に留めて勉強していました。振り返ると、受験は通過点であってゴールではなく、医師への第5ステップだと感じます。皆さんもそのように考えて頑張ってください。



東邦大学 医学部医学科 5年生  
森川友加里さん

川上 信州大学は集団面接を行っています。私が受けた年は倍率が高く、1クルー、7、8人でしたが、今は5、6人で、時間は20、30分、3問。「なぜ医師になりたいか」「なぜ信州大学を選んだか」というオーソドックスなものがある。泉 横浜市立大学は、生徒1人に対し先生複数名の面接。質問は志望動機など一般的な

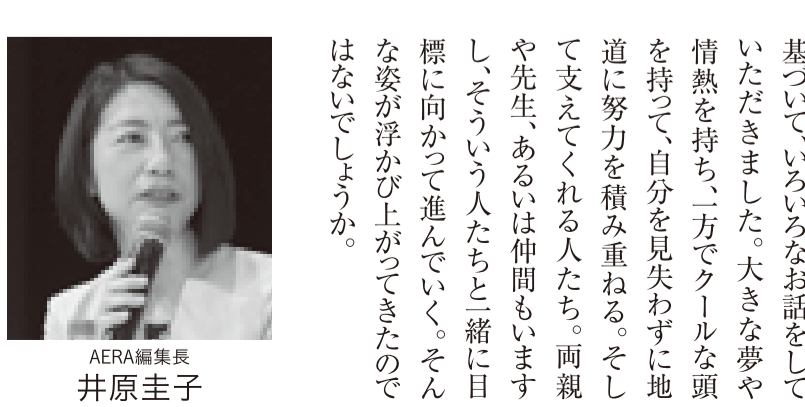
井原 医学部を目指すには後輩の皆さんに「ご自身の経験やアドバイスをお願いします。直宮 勉強している時は、モチベーションが下がった時は、モチベーションを上げるために、サボらずもう少し頑張ろうと思えるはずです。二つの自分を想像しながら、受験勉強に励んでください。



信州大学 医学部医学科 5年生  
川上ちひろさん

井原 医学部を目指すには後輩の皆さんに「ご自身の経験やアドバイスをお願いします。直宮 勉強している時は、モチベーションが下がった時は、モチベーションを上げるために、サボらずもう少し頑張ろうと思えるはずです。二つの自分を想像しながら、受験勉強に励んでください。

川上 受験勉強で大事だと思うのは、まず勉強しやすい環境をつくること。そしてモチベーションを保つことです。モチベーションを想像することが大切。それと同時に、失敗した自分の姿も思い浮かべてください。未来の自分が後悔しないために、サボらずもう少し頑張ろうと思えるはずです。二つの自分を想像しながら、受験勉強に励んでください。



AERA編集長  
井原圭子